

令和6年度 学校自己評価・学校関係者評価委員会に係る評価結果報告

令和7年5月29日（木）開催

下記のとおり、学校評価について報告いたします。

学校法人朋友学園 四国総合ビジネス専門学校 校長 塩崎 潤

各評価項目の評価基準（4段階）

A：十分である **B：おおむね十分である** **C：やや不十分である** **D：不十分である**

No.	評価項目	評価	自己評価結果・改善方策等	学校関係者評価委員会結果・質疑・意見等抜粋
1	教育理念・人材育成	B	・教育方針等は学校要覧に明記され、共有されている。 ・社会や業界のニーズに応えられる人材育成に努めている。 ・学校の将来像をより明確にする。	・一人ひとりを大切にする教育や校風は本校の将来像を示すうえで、重要な柱となる。 ・それぞれの学校には入学して初めてわかる良さがある。そんな魅力をいかに知ってもらうかが大切だ。
2	学校運営	B	・法人として運営方針等を定め、適正に運営がなされている。 ・職員間の関係が良好で、チームで運営にあたっている。 ・社会の変化に対応した給与体系、職員の採用等を検討する。	・全般的に「B」評価となっており、概ね安定した学校運営が行われている。 ・物価高や賃上げといった社会の変化に対応した給与体系を目指して学校運営にあたる。
3	教育活動	B	・カリキュラムの編成や指導体制は整備されている。 ・成績評価・単位認定、卒業・進級等の基準は明示され、適正に運用されている。 ・授業評価は継続して実施し、授業の改善及び充実を図る。 ・多様な生徒のニーズに応えるための個別指導の機会が増加しているので、職員の過重負担にも配慮を要する。	・2年間のカリキュラムは、社会で必要とされるPCスキルを身につけるのにふさわしいものになっている。 ・親や兄弟姉妹が本校の卒業生という生徒が多いのは、学校の教育活動への期待と信頼の表れでもある。 ・将来的なビジョンに立って新たに特化したコースの設置等を検討するのも必要なのではないかな。
4	学修成果	B	・進路指導は、計画的かつ丁寧に行われ、就職率は安定している。 ・多様なニーズに応えるための面談は成果をあげている。 ・「個別に、わかりやすく、丁寧に」の姿勢を大切にしている。	・例えば医療現場で使用されているソフトの導入等、より実践的な教材の使用に対応しておきたい。
5	生徒支援	B	・在校生、卒業生に対する支援体制は概ね整備されている。 ・高等教育修学支援制度や授業料分割納付等により経済的な支援にあたったが、退学者を防ぐには至らなかった。 ・生徒の多様化に伴い、合理的な配慮等の体制整備も求められる。今後は教職員の研修も含めて、支援体制の強化に努める。	・資格取得等は個別指導等の成果が出ている。 ・人とのつながりが大切だ。卒業生が本校を訪問して現況報告をしてくれるのも学校の活力になる。 ・学生と教員の距離が近く、非常に温かい印象がある。本校の最大の強みであり特色ではないかな。

6	教育環境	B	・コンピュータ等の施設・設備は概ね整備されている。 ・トイレ等の改修、老朽箇所の修繕等のニーズがある。 ・インターンシップはミスマッチ予防に成果をあげている。 ・防火・防災訓練は、南海トラフ大地震を想定して、地震・浸水害も想定したもので行う。	・PC更新は莫大な費用がかかるが、必要な投資なので重視して取り組んでいる。 ・常に1人1台のPCは確保されている。 ・防火防災面の整備、訓練、教育は、施設・設備の整備と合わせて不備の内容にしていくことが大切だ。
7	生徒の受け入れ状況	B	・入学生が前年度より大幅に減少したことが厳しい評価につながった。 ・生徒納付金は適正に取り扱われている。 ・少子化に伴う生徒数の減少を見据えた生徒募集の在り方を継続して検討する。	・今後の18歳人口の推移を踏まえて、計画的に運営規模の方向転換、再構築を進めるべきだ。 ・SNS導入、HP刷新による効果も職員の働きかけが伴って初めて機能する。いかに働きかけるかが大切だ。 ・少人数、丁寧な指導といった本校独自のよさを前面に出して、他校との差別化、共存をはかるのが望ましい。
8	財務	B	・入学生の増減による影響を受けながらも概ね安定した財務基盤を維持している。 ・限られた予算を効率的に運用するように工夫している。 ・より安定した財務のため、今後も入学生確保、求職者支援訓練生の確保に注力する。	・校舎の老朽化に伴う大規模改修も視野に入れながら、中長期的な財政基盤を構築することが求められる。 ・授業料が他校に比べて安価に抑えられていたが、理事会でも授業料の値上げについて検討された。値上げだけでなく教育の質の向上も重視したい。
9	法令等の遵守	B	・設置基準、関係法令は遵守され、適正に運用されている。 ・個人情報、慎重かつ厳正に取り扱われている。 ・授業アンケート、自己評価アンケート等の結果を分析し、課題の明確化、共有化をしたうえで、学校をあげて教育活動の改善、充実に努める。	・法令等の遵守は、当然のことであるが、教職員の自覚と責任ある行動は今後もより一層求められる。 ・SNS、HP等の掲載内容には、個人情報取扱はもちろん学校としての情報モラル等にも配慮する。 ・学校評価は今後も継続し、常に教育内容の工夫改善に努めることが学校の将来像にもつながる。
10	社会貢献・地域貢献	B	・公的機関からの求職者支援訓練には積極的に協力している。 ・ボランティア活動の奨励に関する評価がやや低かった。 ・今後も求職者支援事業の受け入れは継続し、幅広く県下の情報専門教育を支える。	・ボランティア活動の奨励は学生に果樹負担とならない形で実施できるように検討したい。 ・求職者支援事業は、今後も積極的に訓練生を受け入れ、社会に貢献する。